

南部営農だより 6月の防除

南部総合経済センター 電話：237-5580 Fax：237-5155

長田出張所 電話：259-3233 Fax：258-2867

☆年金感謝DAY☆

6/15(月)・6/16(火)
大好評!「新茶の販売」(^_^)
各店舗にて販売いたします。

JA農業機械大展示会

日時:6月26日、27日(金、土)9:00~15:00

会場:ツインメッセ静岡 北館1階(静岡市駿河区曲金3丁目1-10)

内容:農業機械・農業資材の展示・中古(特価)農業機械コーナー

ご来場で記念品贈呈!

JA静岡青壮年連盟 創立75周年記念イベント

日時:6月27日(土)9:00~15:00 入場無料!

会場:ツインメッセ静岡 北館4階(静岡市駿河区曲金3丁目1-10)

内容:特製シロップのかき氷食べ比べ・千本くじ・射的・チョコフォンデュ など

出展多数! (^_^)
ご来場お待ちしております!
おります!

土壌分析実施のお知らせ

☆ 申込締切 :6月12日(金)

☆ 診断料 1,330円/検体(税込)

☆ 申込方法 :土壌500g程(風乾)を紙袋に入れる。
(住所・氏名・連絡先・栽培作物・施設か否かを明記)

☆ 提出先 :南部総合経済センターまたは長田出張所

※ 詳しい土壌の採取方法等は、肥料年特説明書P20
をご参照ください。

高田農具展示会

★6/1(月)9:00~13:00

大谷支店前

★6/5(金)8:30~12:30

長田支店前

★6/24(水)9:00~13:00

南部総合経済センター前

修理も受付け
ています!!

有害鳥獣伝言板

R8・4月	南部	長田
ハクビシン	8頭	1頭
イノシシ	1頭	1頭
タヌキ	4頭	-
シカ	-	2頭
アナグマ	1頭	1頭
ヒヨドリ	-	1羽

静岡市の防護柵・電気柵の補助金申請の
受付が始まりました。
補助金の相談は南部総合経済センター、
長田出張所でお受けします。
お気軽にお問い合わせください。

令和8年度 第1回狩猟免許試験のお知らせ

- 実技講習会 令和8年8月8日(土)
《申込期限》6月22日~7月15日まで
《問合先》一般社団法人静岡県猟友会事務局(253-6427)
- 第一回試験 令和8年8月23日(日)
《申込期限》6月15日~7月15日
《問合先》くらし・環境部環境局自然保護課 (221-2719)



茶 (岩田)

二番茶萌芽期	炭疽病・もち病 ウンカ・スリップス	スコア顆粒水和剤 ウララDF	2000倍 1500倍
--------	----------------------	-------------------	----------------

チャトゲコナジラミの同時防除の場合は、ウララDFを1500倍→1000倍に変えて散布する。
マダラカサハラハムシ、サビダニの発生がある場合は、

ウララDF1500倍→コテツフロアブル®2000倍に代えて散布する。

2番茶の需要が高まっています。積極的な2番茶の生産をお願いいたします。

水稻 (石原・深井・望月)

1. 田植期の防除

基本コース	ブーンレパード箱粒剤	50g/箱	播種時~移植当日
低コスト	ツインターボ箱粒剤08		播種時~移植当日

※ 移植数日前に育苗箱に均一に散布し、葉についた薬剤は払い落とし、軽く灌水しておく。

2. 水の管理

(1) 田植後~活着:水深4~6cm程度の深水とし、活着を促す。

※ジャンボタニシの食害が危惧される場合は浅水(4cm以下)管理とする。

(2) 活着後:水深2~4cm程度の浅水とする

(3) ガス抜きをする場合は、田植2~3週間後に1日程度落水する。(軽くひびが入る程度)

3. スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)

(1) 水路の貝が取水口から侵入するので、取水口に網を張る。

(2) 例年発生の多い水田は次の薬剤を発生初期に施用する。

スクミリンゴガイ	スクミノン	1~4kg/10a	収穫60日前-2回
----------	-------	-----------	-----------

毎年被害が多いので、
ご注意ください。

注意

4. 除草剤 体系処理の場合

田植前	サキドリEW	500ml/10a	① 代掻き時(田植えまで7日間空ける) ② 田植直後 ①、②いずれか1回
田植後	ラオウ1キロ粒剤 カイリキZジャンボ	1kg/10a 300g/10a	移植後30日まで ノビエ2.5葉まで 移植後3日~30日まで ノビエ3葉期まで

野菜 (石原・深井・望月)

梅雨の時期は病気が発生しやすいので、雨の合間に銅剤等で予防防除を行いましょう。

トマト・ミニトマト

葉かび病・灰色かび病	ダコニール1000	1000倍	前日-4回 (ミニトマト2回)
アザミウマ類・コナジラミ類	ディアナSC	2500倍	前日-2回

☆尻腐れ予防…カルクロン 200倍 各花房の第1花が開花したときに散布する。

☆着果促進 …トマトトーン 100倍 花房の3~5花が開花した時に1花房に1回散布する。

芽や幼葉にかかる葉が萎縮するので、花・花房のみにかかるよう噴霧する。

きゅうり

べと病・褐斑病(予防)	ダコニール1000	1000倍	前日-12回
アザミウマ類・コナジラミ類	ディアナSC	2500倍	前日-2回

柑橘（新出）

作物	使用時期	病虫害	薬剤名	使用倍数	使用基準
中晩柑	6月最上旬	かいよう病	ICボルドー412	50倍	-----
柑 共 橘 通	6月中旬 混用可	ハモグリガ アザミウマ類	エクシレルSE	5,000倍	前日-3回
		ミカンハダニ	マシン油乳剤（97%）	150倍	-----
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	30日-4回
				*中晩柑 は 90日-4回	

※マシン油乳剤と展着剤は混用しない。※マシン油乳剤とボルドー剤の散布間隔は2週間空ける

◎夏肥施用・・・6月上旬（遅くとも、6月20日まで）

早生温州	粒状固形 080	4袋／10a	スルガ	粒状固形 080	6袋／10a
青島温州	粒状固形 080	6袋／10a	ボンカン	粒状固形 080	4袋／10a
不知火・はるみ	粒状固形 080	4袋／10a			

◎着花管理

温州は、有葉果摘花や枝別全摘花を行い来年の結果母枝を確保して、隔年結果を防止しましょう。
また、摘果剤を使用して省力化を図りましょう。摘果剤の使用が不安な方は、J A へご相談ください。

- ・摘果 ⇒ 満開 20～40日後 ターム水溶剤 1000倍～1500倍
- ・間引き摘果 ⇒ 満開 20～50日後 フィガロン乳剤 1000倍～2000倍

※果径が20mm以下の時に効果が大きい。30℃以上の高温が続くと摘果過多になる恐れがある。
樹勢の悪い樹には使用しない。

◎柑橘苗木育苗管理（植え付けから収穫を始める前年まで）

苗木を早く大きく育てるには、施肥管理と病虫害対策が重要です。

- ・施肥管理 ⇒ 5月～9月頃まで毎月、粒状固形 080 肥料など苗木 1 本あたり 150g を施肥。
- ・病虫害防除 ⇒ 5月下旬～6月下旬 下記薬剤（ミカンハモグリガ、アブラムシ類、ゴマダラカミキリ）
モスピラン顆粒水溶剤㊟ 200～400 倍 主幹から株元に散布

落葉果樹（森）

作物	使用時期	病虫害	薬剤名	使用倍率	使用基準
桃	6月（収穫前） 混用可	黒星病・灰星病 シンクイムシ	ベルコート水和剤 フェニックス顆粒水和剤	2000 倍 4000 倍	前日-3回 前日-2回
	※除袋又は収穫前には必ず上記殺菌剤を散布する ※収穫時期のため、使用基準に注意				
梨	6月上旬	輪紋病・黒星病 うどんこ病	ナリアWDG	2000 倍	前日-3回
	※5月下旬～6月上旬に仕上げ摘採を終了し、薬剤散布をして袋掛けを行う				
	6月中旬	ハダニ類	コロマイト水和剤	2000 倍	前日-1回
	6月下旬	シンクイムシ類 クワコナカイガラムシ	バリアード顆粒水和剤㊟	4000 倍	前日-3回
キウイ	6月下旬	果実軟腐病	ダコニール 1000	1000 倍	60日-7回
		キイロマイコガ・ウンカ	アグロスリン乳剤㊟	2000 倍	7日前-3回
	6月下旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1000 倍	前日-3回
	6月下旬	果実軟腐病	ベンレート水和剤	2000 倍	7日前-5回

作物	使用時期	病虫害	薬剤名	使用倍率	使用基準
イチシク	6月上旬	疫病	Zボルドー1000倍・バイカルティ 1000倍		
	6月上中旬	アザミウマ類	ダントツ水溶剤	2000倍	3日-3回
		(アザミウマ類には光反射シート、粘着トラップの設置も有効)			
	6月下旬	ハダニ(発生時)	ダニサラバフロアブル	2000倍	前日-2回
		疫病	Zボルドー1000倍・バイカルティ 1000倍		
柿	6月上旬	うどんこ病・落葉病	オンリーワンフロアブル	2000倍	前日-3回
		フジコナカイガラムシ	モスピラン顆粒水溶剤㊟	2000倍	前日-3回
	6月中旬	落葉病・疑似炭疽病	ベンレート水和剤	2000倍	前日-6回
		カキヘタムシガ・カメムシ チャノキイロアザミウマ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	3日前-3回
	6月下旬	落葉病・うどんこ病	ベルコート水和剤	1500倍	14日前-3回

※果樹類防除に、殺菌剤の効果を持続させる耐雨展着剤アビオンE(1000倍)を使用しましょう！

苺（山森）

《育苗》ランナー受け開始の時期です。炭そ病予防を重点に行いましょう。

（1）親株管理

- ① I B化成S1号の場合：親株 1 株あたり 10 日で3粒もしくは14日で4～5粒を施用。
- ② 給液管理の場合：EC0.5～0.6を目安に給液。（6月の目安：500～1,000ml / 株/日）

（2）炭そ病対策 ～出さない、広げない、持ち込まないを徹底しましょう。～

「防除の鉄則」

- ① まず第一に作業開始前に怪しい株の除去をしましょう。（拡大させない！！）
→炭疽病と思われる株を触った際は必ず、手袋等を交換し鋏などの道具も再度消毒する。
→農薬散布により胞子は500cm以上飛散
→頭上灌水により胞子は120cm程度飛散
- ② 薬剤散布は予防主体として（M1、M3、M4、12）ローテーション防除を行いましょう。

育苗圃病虫害防除ローテーション（先月号の続きです）

時 期		薬 剤	RAC	倍率	主な対象病虫害
6月	第1週 (31日～6日)	アントラコール（顆水）	M3	500 倍	炭そ病
		エコピタ（液）	—	100 倍	うどんこ・ハダニ・アブラムシ
	第2週 (7日～13日)	キノンドー（フ）	M1	500～800 倍	炭そ病
		プレオ（フ）	UN	1000 倍	ヨトウ
	第3週 (14日～20日)	オーソサイド（水）	M4	800 倍	炭そ病、うどんこ
		エコピタ（液）	—	100 倍	うどんこ・ハダニ・アブラムシ
	第4週 (21日～27日)	ジマンダイセン（水）	M3	600 倍	炭そ病
		コテツ（フ）㊟	13	2000 倍	ハダニ・ヨトウ・アザミウマ